



阿波市「阿波町・吉野町」 総合学術調査の報告にあたって

徳島県立図書館長 中 井 忠 良

平成21年度総合学術調査は、阿波市の「旧阿波町」「旧吉野町」地区を対象として、平成21年7月31日から8月9日までの10日間を中心に行われ、通年の調査班を含め、自然・人文・社会・医学など多方面にわたる16班、総勢100名余りの調査員が参加した盛大なものとなりました。このたびその調査結果がまとまり、阿波学会紀要第56号として発行する運びとなりましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

この総合学術調査は徳島県立図書館と阿波学会との共催事業となっており、その活動は半世紀を超える長い歴史を持っております。本調査は毎年県内1市町村を対象として、自然・人文・社会・医学など幅広いジャンルの調査研究報告を行うという全国でも他に類を見ないものであり、その研究成果は、県下のみならず全国的にも大きく注目され、高い評価をいただいております。

さて、阿波市は、平成17年4月1日、板野郡の吉野町と土成町、阿波郡の市場町と阿波町の4つの町が合併して誕生しました。徳島県中央北部の吉野川北岸に位置し、緑豊かな阿讃山脈を背に、吉野川を望む、美しい水と緑豊かな自然の息づく所です。東西に開けた平野部では、吉野川を中心とした河川によって形成された地味肥沃な土壌を活かした高品質な農産物が生産されております。また、阿波の東西交通の要衝として発展してきたことから、歴史・文化資源にも恵まれており、国の天然記念物「阿波の土柱」や「四国霊場札所」をはじめとする名所旧跡も点在しております。

本年度の調査対象地域の阿波市では、既に昭和53年度に市場町、平成元年度に土成町が調査を完了しており、今回の旧阿波町・旧吉野町の2地区を併せて、市内全域の調査が終了したことになります。今後この成果が阿波市の郷土の環境の保全や歴史・文化財研究等の活性化の一助となり、阿波市発展のためにいささかなりとも貢献できますならば大変ありがたいことと考えております。

本年度の調査活動により得られました数多くの貴重な成果につきましては、平成21年12月6日に阿波農村環境改善センターでの発表会におきましてもご紹介させていただきましたが、それらをまとめましたものがこの阿波学会紀要第56号となります。詳しい成果内容につきましては各班の本編論文をご覧くださいと思います。

最後に、猛暑の中、あるいは、寒風の中、熱心にご調査いただき、大変お忙しいところ分析研究報告をいただきました小林会長様をはじめ阿波学会会員の皆様はもとより、格別のご理解と一方ならぬご尽力をいただきました野崎國勝市長をはじめ阿波市教育委員会関係職員の方々、ご協力をいただきました地域の方々に厚くお礼申し上げます、発刊に当たりましてのごあいさつとさせていただきます。